

学校法人 立命館 × 大分県

学校法人 立命館は、自らが設置する大学の教学棟の建設にあたり、構造や内外装に地域材を積極的に活用することにより、2050年カーボンニュートラルの実現等に貢献していくとの構想を実現するため、大分県と協定を締結しました。

木材の利用促進と教育に関する協定



協定締結日：令和3年12月16日
有効期間：協定締結日から令和9年3月31日まで
対象区域：大分県

➤ 立命館の木材利用の促進に関する構想

立命館アジア太平洋大学(APU)における教学棟の建設にあたり、構造や内外装に地域材を積極的に活用することにより、2050年カーボンニュートラルの実現等に貢献していく。

➤ 構想の達成に向けた取組の内容

- ・APUの教学棟に地域材、合法伐採木材を活用
- ・大分県初となる「木3学(もくさんがく)の準耐火構造建築」の教学棟を教材として、APUの授業や各種活動を通じ、APUの学生に対して、木材利用の意義やメリットを教育・啓発
- ・キャンパスを訪れる国内外の関係者に対して情報発信

➤ 構想の達成のための大分県による支援

- ・活用可能な補助事業やAPUの教育に有益な情報を提供
- ・定期的な意見交換や木材利用に関する相談窓口・専門家の紹介
- ・協定に基づく立命館の取組を優良事例として積極的に広報